

— 贈る言葉 —

日々前進 70・～

創立 70 年への感謝とこれからの胆沢
中学校へのエールとして ——

水田や酪農などの開拓農家もあるほか、さまざま
な職業を持ち、迷路のような地理の中心にある
小山中学校。酪農を継ぐため大学へ進学すると明
確に進路を話す生徒など、大家族と核家族の子ど
もたちがうまく融合し、素直に育っています。

初代校長が残した「Frontier」の精神が
裏付けるように、脈々と新しいことに挑戦する気
風があり、胆江唯一のプレザーがこれに表れてい
ます。この精神を受け継ぎ、胆沢中学校でも歴史
を築いてほしいと願っています。



小山中学校
関向正俊 校長(55)

— 贈る言葉 —

鐵志玉情

(てっしぎよくじょう)

南都田中学校校長室に掲示され歴代
校長が受け継いだ金田一京助の言葉

平成5年から学校全体の目標テーマとして「自律
心の高揚」を定め、毎月の「自律の日」や年一度の
「自律を考える会」を通じて取り組んできました。
ことしは校内に自律の木を貼り出し、生徒それぞ
れの目標を木の葉に記し、この気持ちを忘れずに
南都田中の名を多く残していこうと、さまざまな
活動に力を入れてきました。

南都田中で培った自律心を高め、胆沢中学校で
は「3中の生徒が一つになり新しい歴史を創る」と
いう気持ちをもち続けてもらいたい。



南都田中学校
及川賢一 校長(54)

— 贈る言葉 —

経験は力なり

経験することで学び・考えることの
大切さを知ってほしい。そのことが、
自分を見つける一歩となる

気持ちが優しく、思いやりのある若柳中学校の
生徒たち。家庭や地域も学校への協力の意識がと
ても高いです。「於呂閑志太鼓」は、地域からの指導
を受け伝承され、地域に支えられている学校を印
象付けます。学校の敷地には多くの樹木があり、
四季折々の美しさを感じることできます。

28年度の合言葉を「若中 レジェンド プロジェク
ト～有終の美に向けて～」と掲げ、生徒自身がこの
学校に足跡を残す行動を促しました。その行動が
胆沢中学校で生かされるよう期待しています。



若柳中学校
菊池俊二 校長(56)

新たな伝統と歴史を生む胆沢中学校

4月の統合に向け3校は、部
活動などを中心に交流を進めて
きました。校風や地域の特徴の
違いを感じつつも、春には同じ
クラスメイトとして歩む彼らは、
古き学び舎に最後の足跡を残し、
そして胆沢中学校一期生として
新たな一歩を踏み出します。そ
の一歩は、これからの胆沢を象
徴するものとなるのです。

そんな彼らを育て、見送る古
き学び舎は、今後姿を変えなが
らも、地域活動の中心の場所と
して彼らを見守り続けます。創
立70年の歴史の中で、支え続け
た教師、保護者そして地域の
人々の思いとともに――

地域への思い響かせた於呂閑志太鼓

水と緑の美しい自然に恵まれ、勤勉
で人情の厚い心豊かな地、若柳。供養
塚、土橋、愛宕、石淵、前川の5カ所
での分散授業により開校した若柳中学
校は、昭和24年、土橋に本校舎を建設し、
分校の開閉などを経て、現在の土橋に
拠点が集約されたのが昭和44年のこと
です。

『健康・誠実・思考・自覚』を教育目
標に掲げ、於呂閑志太鼓や鹿合念仏剣
舞などの伝統芸能を学ぶ取り組みが盛
ん。ふるさとに伝わる貴重な財産を伝
えようとする地域の人たちの指導の下、
生徒たちはその技能だけでなく多くの
ことを学んできました。

貯蓄心や経済的関心を深め、正しい
金銭感覚を身に付けることを目的とし
た『子ども郵便局』では、大蔵大臣・
目銀総裁表彰を受け、また全国ベスト
8を果たした卓球部は、東北中体連会
長栄光賞を受賞しました。

若柳中学校

■所在地 胆沢区若柳字土橋 30
■生徒数 1年生 29人、2年生 27人、3年生 35人

学び舎へのメッセージ

閉校するけど
心の中では永久不滅!
ありがとう若中!

若柳中学校は、上下関係もありながらとにかく明
るく元気な生徒と一緒に活発な学校生活を送ってい
ます。3年生を送る会「飛翔会」と運動会、文化祭
の3大イベントを含め年間4つのスローガンを立て
一致団結して取り組んでいます。地域行事での「於
呂閑志太鼓」の披露やボランティア活動などで、地
域に貢献できていると感じています。

在籍する野球部は部員が少なく、小山と南都田と
の3中合同で昨年の新人戦に出場して地区優勝を果
たしました。閉校を前に名を残すことができ嬉し
かったです。春には胆沢中学校の初代として、中総
体で名を残せるよう頑張ります。



若柳中学校 2年
生徒会長
安倍 快斗 さん(14)



若柳地区センター長
若柳中学校卒業生

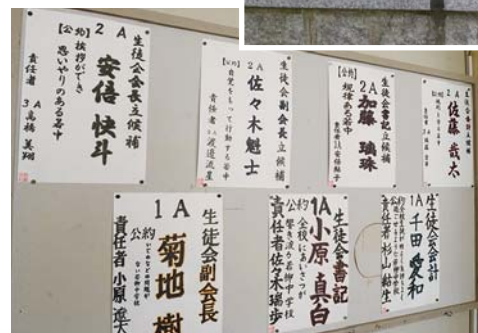
鈴木 守 さん(66)

若柳地区は、礼儀正しい子
どもたちを地域の宝として見
守り、育てる意識が高いです。
私が中学生の頃は、秋に農作
業のために学校が休みとなり、
非農家の生徒でも農家に手伝
いに行ったり、いまは環境整
備に地域の皆さんが協力した
りと、学校と地域が一体と
なった取り組みが盛んです。

胆沢中学校の開校は、かつ
て掲げられた「胆沢町中心地構
想」の完遂です。この構想が住
民の共感呼び、強く支持さ

れ今日に至ったと思います。今後は、地域活動の継続が困
難となることも予想されますが、これまでの概念に捉われ
ない新しい発想で地域力を高め、生徒たちも新しい学び舎
で胆沢を担う人として羽ばたいてほしいです。

▶昭和53年度全
国学校環境緑化入
選を記念した建立
碑。恵まれた環境
で育つ生徒の将来
に思いを馳せた



▲生徒会室に掲示された生徒会役員立候補
者のポスター